

するするする

するするううう
なにしてるのかな？

きのうえにも
どうぶつが いるね！
どんどん、
うえにのぼっていく！
きに のぼるのが
とくいなんだね。

ロープ登り

プログラムの概要

○木の枝からロープをぶら下げ、登り棒の要領で木登りをします。
○足を乗せる結び目をいくつか作り、登りやすくしているものと、一番下に輪を作りブランコのようにつまみぐさでかき取るものなど、いくつかのバリエーションをつくり、子供が自分なりの遊び方を見つけられるようにしています。

遊び例

○ロープをつかんで登っていきます。
○木の幹をキックしたり、足場にしたりしながら登ります。

ポイント

○ロープに結び目や輪をつくり、子供の工夫を刺激する仕掛けを作りました。
○バリエーションがあることで、難易度が変わり、子供の挑戦する心を養います。



ぶるぶる



ぶるぶる

ぶるぶる ぶるぶる
なにしてるのかな？
あれ？
あんなところに
どうぶつがいる
こわくないのかな？

おちないかな？

ロープ渡り

プログラムの概要

○木の間にロープを張り、綱渡りの要領で子供が渡ります。
○足を乗せるロープだけでなく、手を持てる高さにロープを張っているのを、手でロープをつかみ、支えとしながらかつた足で進むことができるため、挑戦しやすくなっています。

遊び例

○下のロープに乗って、上のロープを手でつかんで渡ります。
○下のロープに乗って、上のロープにつかまらず渡ります。

○みんなと一緒にロープに乗って上下運動します。

ポイント

○ロープをつかんで歩けるため、挑戦しやすいです。
○木から木へと地面につかずに渡っていけるので、地面につかないでどこまで行けるかなど、子供の発想を活かした遊びが展開できます。
○フィールドにロープが張ってあることを事前指導しておきます。

